

2学期は、社会見学や出前授業等、子ども達の学びが広がる場がたくさんあります。実際に地域で活躍されている方々のお話を聞くことは、子どもたちの視野を広げ、社会とのつながりを実感できる貴重な機会となります。そして、実際に体験する学びにより、教室では得られない気付きや感動が生まれます。子どもたちの「もっと知りたい」「やってみたい」という意欲を引き出し、将来への夢や目標につながっていく学びの場を大切にしていきます。

6年生体育科(ブラックパールズ)



5年生キッズ防災士養成講座



3年生社会見学(ネギ栽培)



役員選挙を終え、後期自伸会スタート

十日市小学校では、児童が主体となって活動する自治的な組織を「自伸会」と呼び、児童の自主性や協働性を育むことを目的に、学校生活をよりよくするための様々な活動を行っています。活動を進めるのは5・6年生の各種委員会です。

そして、それらをまとめる執行部は5・6年生による選挙によって選ばれます。先日、自伸会執行部の役員選挙を終え、前期から後期自伸会へ役員が交代しました。後期自伸会も、今年のテーマ「協力」と「活発」のもと、楽しく充実した学校生活を目指して様々な企画を計画してくれることと思います。

前期・後期執行部が交代



豆つかみゲームでお箸名人に！

お箸の使い方に慣れることを目的に、「豆豆ま〜め大作戦」を行いました。健康づくり委員会の子ども達が箸の持ち方を教えてくれた後、小さな豆をお箸でつかんで隣のお皿に移すというシンプルな遊びですが、子どもたちは夢中になって取り組み、自然とお箸の持ち方や使い方を意識する姿が見られました。「うまくつかめた!」「あと1個で全部!」と、友だち同士で声をかけ合いながら挑戦する姿はとても微笑ましく、食事のマナーや手指の使い方を楽しみながら学ぶ良い機会となりました。

ご家庭でも、ぜひ一緒に豆つかみチャレンジをしてみてください。



構成的グループエンカウンターを通して

スクールカウンセラーの朝倉先生と「構成的グループエンカウンター」を行っています。「構成的グループエンカウンター」とは、カウンセリングの一種で、グループでエクササイズ等の活動と一緒にすることで、自己理解や他者理解を促すことを目的としたプログラムです。学年全員で行いましたが、いつもは話さない別のクラスの人と活動することで、自然と応援したり、力を合わせたりする姿が見られました。これらのエクササイズを通して、楽しみながら人と関わる時に大切なことは何かに気付かせていきたいと思います。



読書の秋に、心を育むひとときを

秋の深まりとともに、読書にぴったりの季節がやってきました。静かな時間の中で本と向き合うことで、子どもたちは想像力を広げ、言葉の力を育み、心の世界を豊かにしていきます。

本校では、読書活動を通じて「考える力」「感じる力」「伝える力」を育てることを大切にしています。図書室の活用はもちろん、電子図書システムの導入や図書委員会による読書推進の取組など、子どもたちが本に親しむ機会を増やしています。

ご家庭ではいかがでしょうか。親子で一緒に本を読む、読んだ本について語り合う、図書館へ足を運ぶなど、ちょっとした工夫が子どもたちの読書習慣につながります。全国学力・学習状況調査の結果では、児童の学力と読書経験の関係から、読む力は学力の定着につながっていることも分かっています。何より、「読書は心の栄養」とも言われます。秋の夜長、ぜひご家庭でも本のある時間を楽しんでいただければと思います。

子ども司書の児童が職員室前に読書コーナーを作ってくれています。職員室にきた児童が立ち寄って本を手にとっています。



教室の前、廊下等、様々な場所にも本を手にとれるような工夫をしています。



放課後に来校される際のお願い

正面玄関へ新たにインターフォンを設置しました。既に職員玄関にもインターフォンは設置しておりますが、17時になりましたら玄関を施錠します。ご用の場合は、インターフォンを押してお知らせください。安全な学校運営のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

正面玄関のインターフォン
カメラ録画と通話ができます。



職員玄関のインターフォン

